

平成28年第4回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	3	小 林 啓 子	<p>1 記念用つき婚姻届について</p> <p>2 母と子どもを守る産前産後ケア（ネウボラ）について</p>	<p>(1) 昨年6月議会の一般質問において、幸手市として記念用つき婚姻届を作成しては如何かを質問した。その後の進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 幸手市における「子育て世代包括支援センター」の活動状況と課題について。</p> <p>(2) 幸手市の赤ちゃんを迎えるまでの妊娠期から、赤ちゃんのいる産後期、そして育児期と切れ目のない支援体制について。</p> <p>(3) 特に産後ケア、産後サポートについて、一人一人に寄り添う体制について。</p> <p>(4) 児童福祉法の改正により、更なる安心して子育てできる体制について。</p>
2	5	本 田 謡 子	1 自校方式の学校給食について	<p>(1) アレルギーのため、普通の学校給食が食べられない子どもの人数の推移を伺う。</p> <p>(2) その子どもたちに対する市や近隣市町の対応や対策を伺う。</p> <p>(3) 献立変更には栄養士の方々の協力が不可欠ですが、現在の栄養士の人数が適正であるか伺う。</p>

			<p>2 権現堂公園のバリアフリーについて</p> <p>3 市主催の防災訓練について</p>	<p>(1) 現在、権現堂公園でバリアフリーとなっているものを伺う。</p> <p>(2) 今後、改善が必要と思われるものを伺う。</p> <p>(3) トイレについてはどうなのか、市の考えを伺う。</p> <p>(4) 市として、県にバリアフリーに関する要望はあるのか伺う。</p> <p>(1) この防災訓練の趣旨を伺う。</p> <p>(2) この防災訓練は職員が主なのか、市民が主なのか、担当課の考えを伺う。</p> <p>(3) この防災訓練についての反省点や、市民に向けての考えなどあれば伺う。</p> <p>(4) この防災訓練で効果はあるのか伺う。</p> <p>(5) この防災訓練で職員は動かせるのか伺う。</p> <p>(6) 市民にとっては身の安全、まずは安否確認が必要と思います。安否確認を訓練している地区はいくつあり、全体ではどのくらいの割合になるのか伺う。</p> <p>(7) これからの改善策はあるのか伺う。</p>
--	--	--	---	---

3	15	大平 泰二	<p>1 生存権否定する市税徴収問題</p> <p>2 民間橋上駅舎建設</p>	<p>(1) 年金全額差し押さえで、生活保護給付以下の生活に追い込んでいる市税徴収の有り方を問う。</p> <p>(2) 市税の際差し押さえ額の法的根拠について。差し押さえ額はどこがどのように決定し執行しているのか。</p> <p>(3) 年金差し押さえの実態（交付額と差し押さえ額）を問う。</p> <p>(1) 平成24年度の基本計画案策定業務委託内容と契約先。自由通路10億5162万4千円。橋上駅舎12億5414万7千円の算出根拠。</p> <p>(2) 平成25年度の実施設計業務負担金、構内路線測量業務負担金、地質調査業務負担金のそれぞれの契約先。</p> <p>(3) 平成26年度の自由通路11億7554万5千円、橋上駅舎13億1281万1千円の算出根拠。</p> <p>(4) 平成27年度の自由通路16億円、橋上駅舎12億4500万円の算出根拠。</p> <p>(5) 平成24・26・27年の特記仕様及び建設費の比較について。</p> <p>(6) 当初からの東武鉄道の協議内容と平成29年度の協定書の内容について。</p> <p>(7) 現在の仮設工事の工期及び本工事着工の工期。</p> <p>(8) 7500人にも及ぶ工事費削減署名要求に対する対応について。</p>
---	----	-------	--	---

			<p>3 市長及び議員の政治倫理観と 監査委員の対応について</p> <p>4 幸手市圏央道上高野周辺土地 区画整理</p>	<p>(9) 計画は東西平屋駅舎+東西口自由通路に変更すべきと考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 市長（議員時代も含む）の倫理条例に抵触する可能性のある件数とその総額について。</p> <p>(2) 長期に渡って遵守しなかった原因。</p> <p>(3) 「倫理条例抵触」との監査委員からの指摘はあったのか。</p> <p>(4) 領収書に印紙が貼っていない税法違反について監査委員の見解を伺う。</p> <p>(5) 条例抵触に対する議会報告の有無について。</p> <p>(1) 幸手市都市計画決定との関係。</p> <p>(2) 平成37年度まで組合認可の可能性について。</p> <p>(3) 今後の事業費負担について市長の見解を伺う。</p>
4	1 2	青 木 章	1 幸手駅舎・自由通路及び西口 区画整理について	<p>(1) 仮駅舎の進捗状況について。</p> <p>(2) 駅舎の解体と今後の推移について。</p> <p>(3) 西口駅広と接続道路の推移と今後の予定について。</p>

			<p>2 東京オリンピックに向けた幸手市の対応について</p> <p>3 中央商店会お客様専用駐車場について</p>	<p>(4) 幸手市の保留地の状況と対応について。</p> <p>(5) 西口駅広付近の商店街の確保について。</p> <p>(6) 調整池の位置と利用方法について。</p> <p>※市長にも伺う（再質問で）</p> <p>(1) 東京オリンピック事前キャンプ地幸手市誘致について。</p> <p>(2) 未来の幸手市出身オリンピック育成について。</p> <p>※市長にも伺う（再質問で）</p> <p>(1) 駐車場設置の経緯について。</p> <p>(2) 駐車場借り入れに対する負担金の支払いについて。</p> <p>(3) 買物客の利用状況について。</p> <p>(4) 勤労福祉会館の利用状況について。</p> <p>(5) 勤労福祉会館の駐車場について。</p>
5	6	松田雅代	1 「平成29年度予算編成方針」と財政の見通しについて	<p>(1) 予算編成の基本的考え方を具体的に市長に伺う。</p> <p>・国・県等の動向の適確な把握と対応について。</p>

				<ul style="list-style-type: none">・地方創生総合戦略にかける予算配分について。・「市民生活に直結するサービスに要する経費は最大限確保すること」の真意。・「社会保障関連経費は、国の取り組みと基調を合わせ歳出改革に取り組むこと」とは。 <p>(2) 個別的経費の動向、考え方、見通しを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">・歳入・・・市税等自主財源・地方交付税・国庫支出金・その他の収入・市債・歳出・・・人件費・扶助費・公債費・物件費・維持補修費・投資的経費・積立金・教育費（ICT導入・学校図書の実） <p>(1) 幸手市保育料基準額の算定根拠を伺う。</p> <p>(2) 保育区分A～D12の該当者割合と区分別納付額を伺う。</p> <p>(3) 公立幼稚園保育料の算定根拠を伺う。</p> <p>(4) 今後の保育料に関する検討課題を伺う。</p> <p>(1) 倉松川（国道4号線西側）排水口の新設フラップゲートの効果検証を伺う。</p>
			2 保育料基準額の見直しについて	
			3 内水改善対策の推進について	

				<p>(2) 大中落・中落への流入を终点とする排水路（施設）の所管、起点、設置目的、排水路と内水の因果性、対策の検討状況を伺う。</p> <p>①大中落最西端周辺（香日向地区）の樋管。</p> <p>②大中落北岸（中5丁目牛村橋周辺）に流入する排水路。</p> <p>③大中落西中学校東側に接続する排水路。</p> <p>④中落（中5丁目地区と下川崎地区境界周辺）に接続する排水路・排水管。</p> <p>(3) 『第5次総合振興計画後期基本計画』1-5「総合治水対策の推進」の成果指標①河川（大中落・中落）の整備率71%⇒80%の整備計画と、達成による内水・浸水被害の改善見込みを伺う。</p> <p>(4) 今後の内水対策と予算配分の考え方を市長に伺う。</p>
6	9	小林 順一	1 ドローン利用の災害時情報収集について	<p>(1) 現在の災害時情報災害情報の収集はどのように行っているのか伺う。</p> <p>(2) 現在の情報収集に課題があれば伺う。</p> <p>(3) ドローンを活用しての情報収集を提案するが所見を伺う。</p> <p>(4) ドローンの活用は災害時のみではなく幅広い分野での活用が広がると考えるが市長の所見を伺う。</p>

			2 「引きこもり」に対し社会復帰支援について	<p>(1) 幸手市内の引きこもりの実態（性別、年齢別、家族同居別居別、経年変化）を伺う。</p> <p>(2) 「引きこもり」に対する市の支援体制を伺う。</p> <p>(3) 現在の支援体制などでの実績を伺う。</p> <p>(4) 今後の支援に対して課題があれば伺う。</p>
7	4	小河原 浩 和	1 任期付職員の採用について市長に伺う	<p>(1) 任期付職員とはどういうものか、市の考え方を伺う。</p> <p>(2) 任期付職員の採用状況はどうなっているかを伺う。</p> <p>(3) 現在、幸手市が必要としている、専門的な能力・経験はどのようなものか。</p> <p>(4) 任期付職員に市役所で日常的に法律相談などのできる弁護士資格を持つ人や、広報・編集・販売促進・マーケティング等に関する高度で専門的な能力・経験を持った人を採用したらよいと思うが所見を伺う。</p> <p>(5) 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師などを募集しているが、現在の在籍人数と今後の目標人数を伺う。</p> <p>(6) 現職員に、高度で専門的な能力・経験を積ませるために行っていることはどのようなものか伺う。</p>

			2 3回目の成人式について	<p>(1) 高齢社会を迎え、市民の皆さんに、生きがいをもって元気に過ごしていただくことが、重要になっていると思う。</p> <p>また、様々な経験や知識、人脈をもった方々をお迎えして、地域でご活躍いただければ、幸手市の活性化にもつながると思う。</p> <p>そこで、定年退職を迎えられる60歳の方達を対象に、これまでの人生をお祝いし、地域で第二の人生をスタートしていただくきっかけとして、一部の自治体で「3回目の成人式」や「還暦式」などを行っている事例がある。当市においても有効な手段であると考えます。</p> <p>本年3月議会で同様の質問をしたが、その後、検討はされたのか。されたとすれば、その後の進捗状況を伺う。</p>
8	7	宮 杉 勝 男	1 放課後児童クラブの学校施設利用について	<p>(1) 各放課後児童クラブを利用している児童の推移を伺う。</p> <p>(2) 協定書の内容ではどのようなになっているかを伺う。</p> <p>(3) どうすれば、その内容を変更することができるかを伺う。</p>
9	10	中 村 孝 子	<p>1 トイレの洋式化について</p> <p>2 西口土地区画整理事業について</p> <p>3 市民との対話集会について</p>	<p>(1) 高齢化のもと洋式化への市の考え方と現状を再度伺う。</p> <p>(1) 当事業の重要性と財源、推進計画等再度市長に伺う。</p> <p>(1) 集会に取り組む姿勢、つまり重要性をどのように認識しているかを市長に伺う。</p> <p>(2) 設定時間の根拠について市長に伺う。</p>

10	8	木村治夫	1 地域農業の振興について	<p>(1) 農業センサスの集計結果について伺う。</p> <p>(2) 農業センサスを分析し、目指す市の施策について伺う。</p>
11	14	武藤壽男	<p>1 人口動態と財政の現状と将来について</p> <p>2 農地の維持管理と転用について</p>	<p>(1) 現在までの人口動態に対する見解とその要因について伺う。</p> <p>(2) 将来の人口（平成37年まで）の推移と年少人口、生産年齢人口、高齢者人口、後期高齢者人口、特殊出生率の見込みと根拠について伺う。</p> <p>(3) これらの推計を基に、財政の市税等の歳入と民生費、扶助費等の歳出の推移について伺う。</p> <p>(4) その間の必須な事業と必要な財政需要額の総額と推移について伺う。</p> <p>(1) 不耕作地の現況について伺う。</p> <p>(2) 今後の農業従事者の動向と農地の維持管理対策について伺う。</p> <p>(3) 今後の農地転用について基本的方針について伺う。</p>

1 2	2	大 山 重 隆	<p>1 第5次総振の策定時に「幸手市から転出、したい理由」の1位は「老後の生活に不安があるから」であった。また、厚労省調査で、要介護となった場合「自宅でいつまでも暮らしたい」と答えた高齢者、家族は80%以上であった。高齢者がいつまでも安心して自宅で暮らせるためには、2つの大きな柱が必要である。</p> <p>①在宅医療を担ってくれる医師・診療所があること。</p> <p>②いつでも自宅へ訪問して、看護・介護をしてくれるシステムが整備されていること。</p> <p>2 現在、幸手駅西口、駅舎整備が行われようとしているが、「幸手市のまちづくり」の長期ビジョンの上で、これらがどのような位置付け、役割を果たすのか。</p>	<p>(1) 地域包括ケアシステムのこの2本の柱を実現すべく、市長の抱負・ビジョンを伺う。</p> <p>(2) 2つの柱を実現すべく具体的な計画を伺う。</p> <p>(3) このような地域包括ケアシステム実現には、他の部署と協力・調整を図る司令塔となる組織（センター）が必要と考えるが、執行部の方針を伺う。（コンパクトシティ+地域包括ケアシステム⇒ケアコンパクトシティ）</p> <p>(4) 介護予防の視点から介護関係の施設・通所等の客観点評価が必要と考えるが、執行部の方針を伺う。（川崎市等の事例を参考に）</p> <p>(1) 「幸手市のまちづくり」の長期ビジョンを市長に伺う。</p> <p>(2) これらの整備事業が「中心市街地の活性化」へ有効な手段となりうるのか伺う。</p> <p>(3) 市街地のコンパクト化（機能集約化）構想が都市計画まちづくりにおいて重要視されているか、そのメリットと実現プランを伺う。</p> <p>(4) コンパクトシティにおいて自動車ではない有効な交通手段が必要だが、（特に高齢者にとって）その方策を伺う。</p>
-----	---	---------	--	--

				(5) 公共施設、医療・介護・福祉施設、商業施設が郊外へ流出しているが、中心市街地への集約は可能なのか伺う。(コンパクトシティ化において)
--	--	--	--	---